

# 平成二十六年年度 常盤中学校卒業式

式

辞

いつしか鎌田山の雪も消え、桜のつぼみも膨らみ、躍動する春を感じる、この良き日に、須坂市長様はじめ多くのご来賓の皆様方のご臨席をたまわり、

平成二十六年年度 須坂市立 常盤中学校 第六十七回卒業証書授与式を挙行できますこと、心より感謝し、御礼申し上げます。百二十五名の皆さん、ご卒業おめでとうございませす。ただいま一人一人に手渡した卒業証書は、中学校の三年間を修了した証明と同時に、九年間の義務教育全課程を、修了した、証明でもあります。

この長い間、皆さんを今まで支えてくださった、全ての方々に感謝をしてほしいと思います。

さて、私と皆さんは、三年前、たつ年に常盤中学校の登竜門をくぐって入学しました。

その登竜門の額を掲げた、第七代校長、徳永先生の三つの願い

「社会に出ていくために必要な基本的な学问や生活態度を身につけている人」

「友達や自分を大事にし、社会に役立てる人」

「美しいものを愛する心豊かな人」  
になるように、自分らしさを發揮して、自分の夢探しにまた自分の夢に向かって精進してほしいと入学式で話をしました。

体も心も幼かった皆さんは、日を遡うごとに、行事を重ねるごとに、この願いに近づくごとく大人へと成長しました。

全国に通用する学力を身に付けた学習態度、校友会を中心に全校に広めた挨拶運動、自分と向き合って真剣に丁寧に、清掃する姿、唐松岳登山や奈良・京都の修学旅行でみせた規律ある集団行動、これこそが社会に出ていくための力だと思ひます。

そして、全校参加率100%を達成したアールミ缶回収、資源回収、三年間、常盤祭の体育会でみせた、スポンジリレー、友達と共に二人三脚で楽しそうに取り組む様子、勝負をかけた強く綱を引く姿、自分のため友のために全力で飛び走る大縄と全員リレー、まさに、団結、協力、社会に役立てる力を付けたと思ひます。

そして、忘れてはならないのが合唱コンクールと、親善音楽会です。皆さんの歌声は、伝統を引き継ぎ、『いつまでも』『ヒカリ』の

二曲の合唱は、情感のこもった歌声とハーモニ―を奏でていました。まさに、美しく、感動する姿だと思います。

また、クリスマスマスイブに行った、「百花繚乱フェスティバル」では、若さとエネルギーあふれる、「レベルの高いパフォーマンズを見せてくれました」。

私は、皆さんと出会え、この三年間一緒に過ごすことができて本当に幸せでした。

さて、保護者の皆さん、中学校三年間、そして九年間の義務教育の終了、誠におめでとうございます。卒業証書を受け取る姿を御覧になりながら、三年前の姿を思い出された方も多いと思います。本校に入学してから、お子様は知力、体力に加えて、心もたくましく成長しました。

これからの人生を夢に向かって力強く生き抜いてくれるものと、信じております。この三年間、保護者の皆さんから本校の教育活動に対する深い御理解のもと、温かいご支援、ご協力を賜りましたことに、深く感謝申し上げます。

最後になりましたが、ご多用の中、ご臨席くださいましたご来賓の皆様、卒業生に対して末永くご支援くださいますようお願い申し上げます。

結びに、卒業生に、はなむけの言葉を贈ります。

鳥は飛び方を

変えることは出来ない。

動物ははい方、走り方を

変えることは出来ない。

しかし、人間は

生き方を変えることが出来る。

人生とは

未知の自分に挑戦することだよ。

これは、百歳を超えても外科医として活躍されている日野原重明氏の言葉です。

皆さんには、無限の可能性があります。夢や目標に向かって、生き方を考え、最後まで全力で取り組んでください。

自主高潔の精神を持ち本校を巣立つ、皆さんの前途に幸多かれと祈り、式辞といたします。

平成二十七年三月十八日

須坂市立常盤中学校長

堀込明紀